|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目名 | 年度 | レポート番号 | クラス | 学籍番号 | 名前 |
| API実習 | 2021 | 3 | B | 20120013 | 小崎翼 |

レポートは極力5ページ以内とします。ページ数や文字数よりも、わかりやすく書けているかどうかが、点数アップの分かれ目です。

API連携について、実用的なAPIとその活用について調査すること。

評価ポイント

選択したAPIの連携にどのような事例があり

具体的な実装方法について調べ

自分が使うのであれば、どんな使い方が考えられるか << 天気予報に使えると思うなどはNG。具体的に考えよう。

　API連携の活用事例についてGoogleで色々なウェブサイトを見て回ったところ一番多かった活用事例に、SNSやGoogleアカウントやApple　IDによるログイン機能APIでした。これにより、新規の人は、新規会員登録が非常に楽になります。なぜなら、一つのSNSのアカウントを所持していれば、IDやパスワードの管理が面倒になることはなく、そのアカウントだけで登録が完結させることができるからです。そこで、ユーザーにとって手間のかかる新規登録のハードルがグンっと下がるので、顧客獲得を目指しやすいです。

　Googleが提供しているFirebaseというサービスを利用することでSNS連携を実装することができます。Firebaseの機能にはRealtime Database、Firebase Authentication、Google Cloud Functions for Firebase、Firebase Cloud Messaging（FCM）等があげられました。今回の課題のテーマに掲げたSNS連携については、Firebase Authenticationを活用することになります。この機能は、Googleのフェデレーション認証というもので、Googleアカウントは勿論のことFacebook、Twitter、GitHub等のアカウントでのログインを可能に出来ます。また、これら以外にもパスワード認証や電話番号での認証にも対応しています。

　私がこのAPIを活用するならば、SNSでよく目にかけるハッシュタグで面白いことができればいいなと考えました。

それぞれのSNSでハッシュタグが使用される場面がよくあります。それを利用し、Twitter、インスタグラム、やYouTube等でハッシュタグ連携をしてみたいと思いました。SNSのプラットフォームは、たくさん存在していますが、それぞれ使い方や仕様、雰囲気が違います。Twitterだったら、文字を使って文章で発信します。インスタグラムなら写真や画像を用いられます。YouTubeなら動画を主としています。個人の趣味等ハッシュタグをお気に入りに登録するなり、フォローをしたところを連携し、各プラットフォームの得意とする発信方法を用いて、多方面から趣味や知りたい情報を獲得することに近づけるのではないかと考え至りました。